

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度社会教育委員会（第2回）	
開 催 日 時	平成30年3月13日（火）15:30～17:00	
開 催 場 所	宍粟市役所 3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	当日選考により 委員長：宗平 圭司	
委 員 氏 名	(出席者) 宗平圭司・中村美代子・宮脇昭介・大前千里 山木康子・梶本雅彦・仲嶋充利・福田洋平 福岡久藏・志水修・板東亨・清水兼男	(欠席者) 船積攝子 小坂恭造
事 務 局 氏 名	西岡教育長、田路次長 (社会教育文化財課) 藤井課長、岩井、清水、亀井、菊元、下多 原 (まちづくり推進部) 樽本次長 (人権推進課) 大田課長	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) ・社会教育（平成28年度事業）事務事業評価	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	会議次第、社教連会報、社教情報	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	<p>■報告及び協議事項 社会教育事務事業評価の説明（社会教育文化財課）</p> <p>○基本目標1 生きがいをもって学べる生涯学習の推進</p> <p>・宍粟市民大学で開催された「イヌワシの講座」が神戸新聞に掲載されていました。テーマとしては地味であるが、とてもいい内容の講演会だったと思います。今後も地域に役立つような講座を開催してください。</p>
事務局	<p>・2月24日に宍粟学講座の一環として「兵庫県立人と自然の博物館」の布野先生をお招きしイヌワシについてのご講演をいただきました。宍粟学講座では歴史テーマの講座を中心に開催しているが、年に1回は自然科学系の講座も組み込んでいます。イヌワシは一般の方にはあまり知られていなかったのかとも思いましたが、60人の参加があり関心の高さを感じました。来年度以降も市民の要望も取り入れながら講座内容の決定をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>・山崎文化会館の利用についてですが、やまさき文化大学の講座終了後、駐車場内の混雑がひどく非常に危険です。役員で交通整理を行っているが、混雑がひどくて交通整理をされている人自身も危険を感じており、安全対策案として何かいい方法はないでしょうか。</p>
事務局	<p>・学生帽をかぶり黄色い旗を持った学生会の役員が交通整理を行っています。私たち職員は少人数で対応しているため、なかなか交通整理まで手がまわらないのが現状です。今後、学生会の総会や役員会で十分注意いただくよう安全面での配慮について説明させていただきます。</p>
委員	<p>・交通整理の当番の人数を増やしていただくよう伝えてください。</p>
事務局	<p>・社会教育委員会でそのような意見がでたことを、役員会でお願いをさせていただきます。</p>
委員	<p>・1月にエーガイヤの屋内運動場で身体障害者のグラウンド・ゴルフを開催しました。ストーブはたくさん置いてあるが、使えるストーブは1台もありません。1台は使えるストーブを置いてください。</p>
事務局	<p>・担当課に伝えて対応を依頼したいと思います。</p>
委員	<p>・生涯学習センター登録団体数「64団体」となっていますが、昨年度と比較すると7団体減っているが、どのような団体が減っているのですか。</p>
事務局	<p>・一宮では植物画を描かれている「ボタニカルアート」の指導者がお亡くなりになり、会自体の運営が成り立たないという理由で1団体減となっています。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波賀の場合は、「おふくろ工房（弁当を作っている団体）」が活動拠点を旧野尻幼稚園に移されたことに伴い1団体減となっています。また、健康体操については複数団体の登録があったが、会員の高齢化に伴い運営が成り立たなくなっているところもあります。そのような場合、団体統合し活動は継続しているが、団体数については減少となっています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千種では、「EMぼかし」の活動団体が以前はセンターの登録団体であったが、作業をするうえで屋外の方が望ましいという理由から活動場所を市民局の倉庫の一角に変更されました。よって1団体減となっています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学遊館では、陶芸や工芸、パッチワーク、草花の鉢植えを研究されている団体が11団体あります。</li> </ul>
	<p>○基本目標2 人権を尊重するまち、子どもや青少年が健やかに育つ地域づくり</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会で開催している人権交流学習会の参加者は戸主が中心です。若年層、極端に言うと中学生や高校生が参加してくれると非常に嬉しいといつも話しているが、参加にはつながっていません。若年層の参加につながるような取組はないでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先般、山崎地区生涯学習連絡協議会を開催させていただきました。その中で参加者を増やす取組として、人権啓発DVD鑑賞だけをするのであれば参加者が少ない、例えば、ふれあい喫茶開催時に啓発DVDを上映し、そのふれあい喫茶に子どもを呼んでくる仕組みをつくるとの報告をいただきました。確かに参加者を増やすには効果がある取組であると思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の一環で地域の子どもたちが参加し、自治会単位でのふれあい喫茶を実施しています。そのような場を活用し、啓発DVDを上映するのはいい方法であると思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい喫茶は年間4回開催すると聞いていますが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい喫茶の実施回数は各自治会で違っているかと思います。最低4回の自治会もありますし、自助努力で毎月開催しているところもあります。開催を強要すると負担になり続かないということも考えられるので、地域の実情に合った実施が望ましいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会啓発を行う中で若年層の参加が少ないという課題を抱えており、私たちもいろいろと研究しています。参考になるかわかりませんが、「子どもも参加していいよ」という明るいイメージでの取組が大事であると考えています。そこで、現在、子ども向けの映画の貸出を行っており、今後は、防災センターの</li> </ul>

委員	<p>アースシアターを活用した映画会を開催するなどの取組ができればいいなと思っています。</p> <p>・先日、山崎高校に行った際に、暴力的ないじめには至らず未然に防げたケースが8件ほどあったと伺いました。近年は定員割れの状態となっており伊和高校と合併したほうがいいのかという噂も出ています。また、千種高校については特殊な取組をされているが、これからは伊和高校と山崎高校の生き残り策について考えなければいけない時期がきていると思います。市外に出ている生徒達をいかに地元止めるかということが人口減少を抑制するひとつの方法であると思います。</p> <p>また、中学校で行っているいじめ減少対策についてですが、保護者対象にどのようなアンケート調査を実施されているのか、学校教育と社会教育とが協力し取り組む手立ても必要でないかと思っています。</p>
事務局	<p>・SNSを使ったいじめ等については実際にあります。30年度からSNSを使ったいじめ予防対策を兵庫県が実施するので、その動向をみながら宍粟市でも実施していこうと考えています。今年度1月末で141件のいじめ報告がありました。近年、いじめの認識も変わり小さなことも見逃さず認知して対応する継続的な指導、安心して暮らせる状況をつくりだそうということで取り組んでいます。いじめられたけど先生や友達、保護者が一緒になり支えてくれ温かさを感じることでいい地域だなと再認識し、この地域に帰ってまた生活したいと思えるよう指導を進めるべきであると考えています。</p> <p>高校の件については、4年前に学区制が変わり16あった学区が5つの学区に変更となりました。千種高校も40人定員のうち地元の中学生が20人を切る状況が3年続けば廃校になる可能性があるという約束の中でスタートしている学校です。中学生が20人いない状況で、小学生はどの学年も10数人で非常に怖い状況であるが、このまま残してほしいと思っています。</p>
委員	<p>○基本目標3 読むこと・知ること・学ぶことを大切にした芸術・文化活動の推進</p> <p>・蔵書、利用者とも増えているという報告を聞き非常にいいことだと安心しました。さて、ハリマ農協がサンパティオ図書館を手放したいということで、一宮の地元の方で何とかしようという動きがでてしていると聞きました。サンパティオ図書館は農業や林業の本が市内で一番充実していると思います。これから先、どういう形であれ宍粟で利用ができるようにしていくべきであると思います。教育委員会も地元の動きや意見を聞きながら保存活用できるよう取り組んでいただきたいと思っています。</p>
事務局	<p>・農協の店舗は昨年12月で閉店し、図書館の運営や経営が苦しいとお聞きしています。教育委員会としても具体的な話を正式には聞いておりませんので、今後情報の収集にも努めます。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話が手遅れにならないよう情報収集に努めていただき迅速な対応をお願いします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強のできる図書館運営について進める方向ですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館でも勉強ができるようにということで検討を進めています。本来、図書館はそこにある資料を使って調べものをしたり勉強したりする場所です。学生が宿題を持ち込んで学習することについて、今まではお断りしていました。子どもたちが勉強をする場がないという意見もありましたので、見直しを検討しています。また、一宮、波賀、千種についても生涯学習センター等で勉強スペースが設置できないか考えているところです。</li> </ul>
委員	<p>○基本目標4 「元気な宍粟」の実現をめざした生涯スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ推進委員が新しいスポーツを紹介して」と書いてありますが、最多なのがグラウンド・ゴルフです。体育協会の中でもすごい勢力で、大会をする度に200人を超えての参加者がいます。これからも根気よくニュースポーツの推進を続ければ定着するスポーツもあると思います。</li> <li>・4月にさつきマラソンを開催しますが、最近みなさんをお願いしているのが「走りにきていただくだけで終わりではなく、市内の参加者は1回でもいいので準備を手伝ってください」と案内に同封しています。昨年、市議会議員のお1人が参加してくださいました。今年も何人かの市議会議員の方が準備を手伝うと言ってくださっており、いい方向で進んでいます。</li> <li>・今まで体育協会にはスキー協会がなく、千種は千種、波賀は波賀で自分たちが競技に出られるというねらいで協会をつくって入っておられました。また、後継者を育てる取組や、小学生や一般の方の競技大会を設定していただくなど地域環境を活用したスポーツ競技はありませんでした。今年度、やっと協会を立上げちくさスキー場で大会を開催する運びとなっていました。天候の影響で1回大会が延期になってしまいました。小学生から大人まで100名近くの参加申込みがあったと聞いています。以上、今の取組について紹介させていただきました。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の新たなスポーツの取組という点で、現在、自分たちの研修として実施していただいているのが、ノルディックウォーキングです。ニュースポーツというよりは、身体運動としてみなさんの健康維持を目的に手軽にウォーキングを楽しんでいただく取組として、今後広めていきたいと考えています。</li> <li>また、さつきマラソンについては、ランナーにも準備から参加し、多くの方がマラソン運営に関わっていることを知っていただきたいと思っています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボールで3人のメダリストに来ていただき講習会を実施しました。非常に子ども達も喜んで、小学生・中学生・高校生にバッティング、キャッチング、ピッチング指導をしていただきました。メダリストの教えは偉大です。少</li> </ul>

事務局	<p>し教えるだけで球が速くなったり、コントロールが良くなったりしました。短時間で非常に上手になりました。来ていただくタイミングもよかったと思います。快くお越しいただき子ども達の成長もみられ、私たちも大変喜んでます。そのような機会を子ども達にどんどん与えてあげてほしいと思います。</p> <p>・近年、トップレベルのスポーツ選手の指導を仰ぐ機会を設けさせていただいております。それについては、体育協会を中心に後継者の育成を目的とし、指導を受けながらその子達が育っていく特別な支援をいただいておりますので、今後ともできる限り計画的にタイミングも見計らいながら実施できればと思っています。</p>
事務局	<p>・明日の学校園所長会でも紹介させていただきますが、宍粟 50 名山ガイドクラブのみなさんより学校行事で子どもが山に登る時には、ガイドをすと申出をいただいております。今後、学校行事で使う場合は、山の歴史の説明をしていただけ、安全なコースを通ってもらえるということで喜んでます。</p>
委員	<p>・山崎西小学校に勤務していた時、最上山から登り山の尾根を通過して菅野まで来て下山される方をたくさんみました。地元の者より都会の人の方がたくさん登られています。素敵な魅力のあるコースはあるが、整備されているかどうか不安です。学校もそのコースを使いたかったのですが、地元の人によれば「荒れて危ない」とか、「ヒルが出る」と聞きました。その課題が解決できればいいなと思います。</p>
委員	<p>・千種の場合は、夏休みに「まなびとクラブ」を開催し、小学生が三室山などの高い山に登っていました。今も続いているかどうかはわかりませんが、その時は登山愛好家団体にガイドとして同行いただきました。</p>
事務局	<p>・現在、市民局のまちづくり推進課で実施しています。夏休み期間中に 10 回程度いろんな講座を設けていますが、ここ数年、登山は行っていません。登山同好会ですが、現在も存続しておりまして、秋のふれあいフェスタの協賛事業としてふれあいウォーキングを開催しています。また、高齢者大学でも登山同好会の指導のもとに講座を組み込んでいます。</p>
委員	<p>・宍粟 50 名山の人気は高まっているが、利用者は市外の人が多いです。宍粟の子ども達も思い出の山の一つや二つはあった方がいいと思うので、今後、子どもたちに山に登る機会を提供していただきたいと願います。お亡くなりになった田部井淳子さんは、女性で最初にエベレストに登った人で、彼女の山の原点は故郷、福島県の生まれ育った近所の山に登ったことが山登りの始まりだったそうです。兵庫県内で 1,000 メートル以上の山が集まっているようなところで育った子ども達が、故郷の山にひとつも登っていないというのは残念です。こういうところで山に登っていると、将来、その時のことが思い出となり宍粟に帰ってくるひとつの機転となるのではないかと思います。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度、波賀の高齢者大学開講式で田部井さんのご主人にお越しいただき、登山の話をしていただきます。日が決まれば市民大学講座としてお知らせいたします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私も昔はよく登山をしていました。宍粟市の体育協会の中に山岳協会はありますか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ないです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたいの都道府県には山岳協会（連盟）というものがあり、高い山をめざした登山や山歩きなど、幅広い活動をされていると思います。ただ、底辺を増やそうと思うと山歩きの方になるかと思います。私たちが山登りをしていた頃は、若い人が盛んに登っていたが、最近の傾向としては 50 歳以上の登山者が増えています。学校行事として登山に取り組んだ場合、子ども達はいろんな経験ができるでしょう。故郷の山、「宍粟 50 名山を登ろう」というのは非常にいいことであると思います。ぜひ子ども達にそのような機会を与えていただきたいです。整備面は十分進んでいます。観光との連携で市外から人を呼び込む取組もできるのではないかなと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが小学生・中学生の頃は、宍粟の恵まれた自然環境の中で遊ぶことで、故郷のよさを学ぶ貴重な経験ができたと思っています。近年は安全面を配慮し「川には行ってはいけない。山に入ってはいけない。」と小学校からの指示があり、行政側としても普及は難しいと思います。しかし、ぜひとも生涯学習の一環として夏場のトレッキングやウォーキング、キャンプ、川遊びなど子ども達が宍粟市の自然にふれあう機会を通年をとおして計画していただきたいと思っています。</li> </ul>
事務局 委員	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化庁「日本遺産」申請について報告（岡山県美作市より申請）</li> <li>・板場見山保存会が毎年、春と秋に登山会を開催しています。その人たちに話を聞いていただければ詳しいお話が聞けると思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最後に「宍粟市人権教育研究協議会 代議員」の社会教育委員代表の 5 名について総会の案内が届く旨伝えて閉会とする。</li> </ul>